

## 分科会開催報告書

報告日 令和 4年 3月 26日(土)	報告者 佐藤和広
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 第二学習 島原の乱⑮
開催日時 令和 4年 3月 24日(木) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂第二会議室
参加人数 古文書を読む会会員 男 8名 女 3名 合計 11名 欠席者 2名	
<p>○一揆方原城の大將といわれる山田右衛門作が寄せ手幕府側に籠城の内部情報の矢文を送ったことを四郎が聴いて立腹し、処刑のため三ノ丸の松の木に括り付けておいた。その時に攻め手の筑前勢が見つけて本陣へ連れて行ったが、矢文の裏切りによる忠節により命を助け江戸へ連行した。</p> <p>○一揆勢にいた惣吉家族四人は脱出を図り、赤ん坊は帯が切れ石垣から落ちて死んだが、残り三人は細川陣営に逃れ、調査の結果自供通り宗旨が一向宗だったので保護され帰農し熊本で暮らした。</p> <p>○此度籠城して亡くなった一揆方の人数三万七千五拾人、味方の寄手人数拾六万人、此内討死一千百三拾人、手負六千九百六拾七人。</p> <p>○将軍のご沙汰：此度の大乱はもともと守護の政道に原因があったからであり島原藩主松倉勝家は切腹、天草は唐津藩より召し上げ。其の後高来・天草は新守護人が入部し世は太平となった。</p> <p>○戦国時代の作法（耳・鼻削ぎ）細川家文書 原城に攻め入った松井角左衛門尉提出書によれば、原城責めの刻二の丸にて一揆の者を鑓にて仕留め鼻をそぎ手柄の証拠にした。</p>	
次回予定 令和4年4月14日(木) 10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：第一学習 参勤交代（松平春嶽）⑦	